

◆ 平成29年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 鴻巣こうのとりを育む会

20A-27

代表者：代表理事 伊藤鑄義

URL :

1. 活動が必要とされた状況

コウノトリの飼育・放鳥後の餌場の確保及び自然環境の再生や創造は、一朝一夕ではなし得ません。これまで「コウノトリを育むモデル水田プロジェクト」の活動として、ふゆみず田んぼ、なつみず田んぼ、魚道設置など営農家と協働で実施してきました。

しかしながら、環境創造型農業の広がりを更に進めるには、これらの活動成果の確認が必要となってきています。



(魚道設備)

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）



(生きもの観察会)

田んぼ形態や、農法の改善は必要ですが、モデル水田プロジェクトを推進していくには、市民の理解や協力が必要となってきます。このため、田植時、中干し時には、小学生を対象とした「田んぼ生きもの観察会」を実施したり、年間を通じた「生きもの調査」を行って来ました。また、外来種駆除を兼ねた「ザリガニ釣り大会」も開催しました。

田植時の生きもの観察会には、スタッフ、保護者、児童、計 81 名が、ザリガニ釣り大会には 157 名の参加者がありました。



(ザリガニ釣り大会)



(釣果 3,455 匹)



「ふゆみず田んぼ」のハクチョウ

3. 活動の成果

「無農薬・有機栽培の稲作」開始から6年。ふゆみず田んぼを始めて3年目にはハクチョウが初飛来、今期も越冬してます。魚道を遡上したドジョウやギンブナの産卵も確認されました。また、魚類の確認種類も多くなりました。カエル、イナゴは年々増加しております。イナゴによる食害は全くなく収穫量は安定しております。

4. 今後に残された課題

「無農薬・有機栽培」をはじめ環境創造型農業を営農家と協働して拡大していくことです。また、湿地ビオトープも創意工夫しながら拡大を図る必要があります。